

佐伯市地震・津波防災減災対策事業等実施状況

防災危機管理課

令和7年2月28日 現在

●避難施設

名称	箇所数	避難人数	収容人数	備考
津波避難地	586	61,077	182,539	
避難路	778	—	—	
津波避難ビル	44施設	—	25,928	
風水害時	緊急避難場所	107	25,974	
	避難所	115	35,740	
地震・津波時	緊急避難場所	60	17,205	
	避難所	71	22,870	
福祉避難所	37	—	210	

●避難施設整備事業

＜避難路＞

年 度	市実施	地区実施	計	累 計
平成23年度	24箇所 72,380千円	105箇所 72,961千円	129箇所 145,341千円	129箇所 145,341千円
平成24年度	9箇所 13,906千円	94箇所 68,804千円	103箇所 82,710千円	232箇所 228,051千円
平成25年度	4箇所(繰越1) 22,110千円	19箇所 12,484千円	23箇所 34,594千円	255箇所 262,645千円
平成26年度	1箇所 7,857千円	11箇所 7,147千円	12箇所 15,004千円	267箇所 277,649千円
平成27年度	0箇所 0千円	7箇所 1,352千円	7箇所 1,352千円	274箇所 279,001千円
平成28年度	4箇所 23,480千円	5箇所 3,822千円	9箇所 27,302千円	283箇所 306,303千円
平成29年度 ～令和6年度	0箇所 0千円	56箇所 7,093千円	56箇所 7,093千円	339箇所 313,396千円
合計	42箇所 139,733千円	297箇所 173,663千円	—	339箇所 313,396千円

＜津波避難施設＞ ※設置費用は建築工事、設備費、調査・工事監理費の計。

年度	施設名	竣工年月日	避難地 面積	設置費用	その他
平成30年度	池船地区津波避難タワー	H30.12.5	360㎡	161,508,600円	避難階高さ 6m、 避難対象 360人
令和元年度	女島地区津波避難タワー	R2.4月	313㎡	211,249,003円	避難階高さ 8m、 避難対象 313人
令和2年度	長島防災高台	R3.3月	2,660㎡	947,033,759円	高台高さ 6m、 避難対象 2,660人

●防災情報システム整備事業（防災スピーカーの更新、デジタル化）

年 度	地 区	親局	中継局 (簡易)	屋外拡声 子局	戸別 受信機	工事費
平成20～22年度	旧佐伯(20、22)、上 浦(21)、鶴見(21)	1	0	191	0	
平成23～29年度	蒲江(23)、弥生・本 匠(24)、米水津 (25)、直川(26)、宇 目(28～29)	6	7	268	470	1,295,715千円
合計		7	7	459	470	

●防災・行政ラジオの貸出

対象世帯数 28,716 (R2年国調)

事業所数 2,000

	一般世帯				施設・事業所ほか				
	設置数	返却数	計	累計	設置率	設置数	返却数	合計	累計
29年度	16,046	31	16,015	16,015	55.77%	559		559	559
30年度	1,486	114	1,372	17,387	60.55%	377		377	936
令和元年度	986	168	818	18,205	63.40%	176	3	173	1,109
R2	476	7	469	18,674	65.03%	77		77	1,186
R3	1,415	157	1,258	19,932	69.41%	99	3	96	1,282
R4	737	192	545	20,477	71.31%	66	6	60	1,342
R5	191	192	-1	20,476	71.31%	29	5	24	1,366
R6	244	205	39	20,515	71.44%	41	2	39	1,405
計	21,581	1,066				1,424	19		

※事業費453,882千円29年度実施(28年度債務負担)

●防災・行政ラジオシステム整備事業

(1) 防災・行政ラジオシステム中継局整備工事

年度	設置箇所	竣工年月日	設置費用	費用内訳
令和1～2年度	佐伯市役所、FMさいき演奏所、波越山送信所、畑野浦中継局、背平山中継局、板戸山中継局、米花山中継局	R3.3月	464,752,400円	工事：420,200,000 施工監理：13,200,000 設計(H29)：31,352,400

(2) 防災・行政ラジオシステム難聴エリア改善整備工事

年度	設置箇所	竣工年月日	設置費用	費用内訳
令和3年度	佐伯市役所、FMさいき演奏所、波越山送信所、福泊中継局、秋葉山ギャップフィラー、尺間ギャップフィラー	R4.3月	11,000,000円	設計施工：11,000,000
令和6年度	佐伯市役所、FMさいき演奏所、波越山送信所、福泊中継局	R7.3月	74,374,300円	工事：74,374,300

●海拔表示板設置事業

年 度	地 区	箇 所	事業費
平成23年度	旧市内、米水津、蒲江	103	191千円
平成24年度	旧市内760箇所、旧郡部242箇所	1,002	20,911千円
平成25年度	旧市内1箇所	1	-
平成26年度	旧市内2箇所	2	-
平成27年度	実績無し	-	-
平成28年度	鶴見1箇所、米水津2箇所	3	-
平成29年度	蒲江	1	-

平成30年度 ～令和6年度	実績無し	-	-
計		1,112	21,102千円

●津波避難地案内標識設置事業

年 度	地 区	箇 所	事業費
平成25年度	旧市内	64	12,903千円
平成26年度	旧郡部海岸地域	46	12,312千円
平成27～29年度	実績無し	-	-
平成30年度	実績無し	-	-
令和元年度	池船・女島地区	4	1,265千円
令和2年度 ～令和5年度	実績なし	-	-
計		114	26,480千円

●非常用資機材配備 (H24購入…地区に随時配布)

資機材名	購入数量	購入金額	令和2年度 配布数	累計配布数
非常用トイレ	270セット	14,277千円	0	173
救助用工具	120セット	6,300千円	0	112

●災害備蓄物資 69品目
《食糧品等》 8品目

	5 年度 末在庫	R 6 年度					備蓄計 画目標	備蓄率
		処分量	有効 活用量	購入数量	購入金額	年度末 在庫		
アルファ化米 わかめご飯(食)	24,208			3,850	756,756	28,058	20,238	138.6%
アルファ化米 白がゆ(食)	15,680			3,050	490,806	18,730	14,414	129.9%
水(5年/10年保存) 0.5ℓ(本)	78,528			17,376	1,679,564	95,904	90,000	106.6%
粉ミルク(g)	105,300		105,300	105,300	358,020	105,300	104,612	100.7%
アレルギー除去粉ミルク(g)	28,362					28,362	14,175	200.1%
液体ミルク240ml×240本	600		600	432	95,178	432	431	100.2%
パン	8,052				333,098	8,052	10,119	79.6%
クッキー	8,052				199,389	8,052	10,119	79.6%
金額合計					3,912,811			

《生活必需品》 14品目

	5 年度 末在庫	R 6 年度				備蓄 目標	備蓄率
		処分量	購入数量	購入金額	年度末 在庫		
毛布	7,510				7,510	7,500	100.1%
紙おむつ(乳児用)	37,116				37,116	23,100	160.7%
紙おむつ(大人用)	35,550				35,550	26,040	136.5%
生理用品	70,074				70,074	53,892	130.0%
ほ乳瓶	558				558	459	121.6%
トイレットペーパー(ロール)	14,102				14,102	13,125	107.4%
集合トイレ用便袋(枚)	998,800				998,800	1,000,755	99.8%
ボディタオル	144,596				144,596	90,000	160.7%
ウェットタオル	94,410				94,410	90,000	104.9%
飲料水袋(手提げポリタンク)	31,020				31,020	30,852	100.5%
ゴミ袋	90,000				90,000	90,000	100.0%
マウスウォッシュ	45,808		12,830	162,299	58,638	67,500	86.9%
歯ブラシ	45,808		12,830	119,961	58,638	67,500	86.9%
使い捨て毛布	12,748		9,857	1,355,337	22,605	30,000	75.4%
金額合計				1,637,597			

《避難所用資機材》 25品目

	5年度 末在庫	R 6 年度				備蓄 目標	備蓄率
		処分量	購入数量	購入金額	年度末 在庫		
炊き出し用釜	72				72	72	100.0%
カセットコンロ	118				118	100	118.0%
カセットガス	336	336	336	96,096	336	300	112.0%
なべ	122				122	100	122.0%
発電機	129				129	85	151.8%
浄水装置	13				13	15	86.7%
次亜塩素酸ナトリウム	26	26	26	34,320	26	26	100.0%
ポータブル車載DC/ACインバータ	96				96	85	112.9%
携行缶(ガソリン用20ℓ)	209				209	170	122.9%
投光機	72				72	63	114.3%
発電機付バルーン投光機	22				22	22	100.0%
コードリール	212				212	170	124.7%
メガホン	130				130	85	152.9%
ブルーシート(5.25×5.3m)	517				517	425	121.6%
ポリバケツ(45ℓ)	195				195	170	114.7%
バケツ(15ℓ)	195				195	170	114.7%
間仕切り(段ボール)	415				415	455	91.2%
間仕切り(テント)	8,673				8,673	8,672	100.0%
マット(間仕切りテント用)	17,353				17,353	17,344	100.1%
ランタン	1,920				1,920	1,700	112.9%
集合トイレ(14部屋)	10				10	10	100.0%
集合トイレ(7部屋)	146				146	146	100.0%
自動ラップ式トイレ	96				96	85	112.9%
救急箱	103				103	85	121.2%
血圧計	8				8	5	160.0%
携帯充電器	0				0	850	0.0%
どこでもスタンド	0				2	2	100.0%
ポータブル蓄電池(寄附)	3				3	3	100.0%
ポータブル蓄電池	22				22	22	100.0%
金額合計			362	130,416			

《応急対策活動等資機材》 17品目

	5年度 末在庫	R 6 年度				備蓄 目標	備蓄率
		処分量	購入数量	購入金額	年度末 在庫		
携行缶(軽油用20ℓ)	2				2	2	100.0%
ボート(アルミ製)	2				2	2	100.0%
ボート(ゴム製)	2				2	2	100.0%
折りたたみリヤカー	18				18	3	600.0%
担架	25				25	7	357.1%
車いす	11				11	1	1100.0%
一輪車	41				41	30	136.7%
救助工具箱セット	119				119	100	119.0%
ロープ(φ12×100m)	12				12	10	120.0%
ヘルメット	474				474	500	94.8%
雨具	570				570	500	114.0%
長靴	523				523	500	104.6%
救命胴衣	595				595	500	119.0%
作業用手袋	0				0	500	0.0%
防護マスク	7,250				7,250	6,860	105.7%
救護所用テント	1				1	1	100.0%
遺体収納袋	500				500	500	100.0%

金額合計	0
------	---

《感染症対策衛生用品》 5品目

	5年度 末在庫	R 6 年度				備蓄目標	備蓄率
		処分量	購入数量	購入金額	年度末 在庫		
マスク	308,250				308,250	300,000	102.8%
アルコール消毒剤	1,367				1,266	680	186.2%
除菌シート	105,500				105,500	85,000	124.1%
非接触型体温計	85				85	85	100.0%
使い捨て手袋	5,300				5,300	4,250	124.7%
金額合計				0			

●大型(公的)備蓄倉庫等整備 ※設置費用は建築工事、設備費の計。測量、設計、施工監理、土地代は除く。

防災備蓄倉庫	竣工年月日	建築面積	設置費用	その他
やまばと児童公園	H27. 11. 26	413.52m ² (1棟)	50,393,880円	分散備蓄倉庫
城山北配水池下	H29. 3. 6	637.45m ² (1棟)	70,716,240円	分散備蓄倉庫
蒲江振興局裏	H29. 10. 27	176.20m ² (3棟)	15,705,360円	分散備蓄倉庫
上城地区防災・避難広場	H30. 5. 1	1,570.12m ² (2棟)	211,878,720円	大型備蓄倉庫
宇目小野市 (旧中学校武道場)	H30. 6. 21 (所管換え)	408m ² (1棟)	1,333,800円	分散備蓄倉庫

●自主防災組織の育成

行政区総数 368

年 度	新規 結成数	行政 区数	自主防 累計	行政区 累計	結成率	防災士配置 行政区数	配置率
平成23年度	22	36	247	284	76.4%	28	7.5%
平成24年度	27	31	274	315	84.7%	117	39.0%
平成25年度	4	4	278	319	85.8%	168	45.2%
平成26年度	14	8	292	327	88.2%	200	54.0%
平成27年度	3	3	295	330	88.7%	214	57.7%
平成28年度	6	6	301	336	90.4%	226	60.8%
平成29年度	0	0	301	336	90.8%	222	60.2%
平成30年度	2	2	303	338	91.6%	230	62.3%
令和元年度	2	2	305	340	92.1%	213	57.7%
令和2年度	0	0	304	339	92.1%	232	63.0%
令和3年度	1	1	305	340	92.4%	274	74.5%
令和4年度	2	2	307	342	92.9%	276	75.0%
令和5年度	0	0	307	342	92.9%	276	75.0%
令和6年度	-10	2	297	344	93.5%	280	76.1%

●自主防災組織津波対策用備蓄倉庫設置事業費補助金事業（大分県地震・津波対策推進事業補助金1/2）

年 度	自主防数	棟数	自主防名	事業費
平成24年度	-	-	実績なし	-
平成25年度	16	21	若宮、年の神、新越、指夫、泥谷、棧敷北、浦代浦、宮野浦、小浦、竹野浦、小蒲江匠南、海崎、佐伯河内、狩生、蒲戸	32,951,391円
平成26年度	38	46	東灘、臼坪、上城、中山、城西、百谷、高松、百枝、大宮、津井、吹浦浜、吹浦奥、吹浦央、吹浦大河原、猿戸、広浦、色利浦、間越、丸市尾地、森崎、東町、蛇崎、稲垣、若宮、榊形、守後、久保浦、片神、塩内、代後西、片山、中野西、笹良目、中川原、羽出、丹賀、葛原、坪	62,570,222円
平成27年度	15	17	上久部、大東、日向泊、竹ヶ谷、小福良、古江、宇山、宮の内、福泊、津井、地松浦、梶寄浦、鷺谷、猪串、越田尾	21,743,156円
平成28年度	33	45	上灘、女島3、下城2、上岡、脇、藤望2、坂の浦、荒網代東、石間2、置場、海崎駅前、中野東、代後、車、風無、津志河内、江頭、大野西、浅海井、地松浦、沖松浦、有明浦2、蒲江浦連合3、蒲江河内、屋形島、深島、波当津、畑野浦2、尾浦2、楠本2、竹野浦河内2、元猿、仲川原	69,144,512円
平成29年度	2	2	野々河内、大島	2,448,240円
平成30年度	4	5	門前、高畑、西野浦西、西野浦東・中村2	6,808,018円
令和元年度	2	2	浪太、高山	3,808,670円
令和2年度	1	1	寺田	1,837,408円
令和3年度	1	1	沖松浦	1,531,200円
令和4年度	2	2	藤原、晞干	3,417,027円
令和5年度	0	0	実績なし	0円
令和6年度	1	1	長田	1,408,000円
計	115	143	※設置数は109自主防(3自主防2カ年で設置)また、複数の自主防共同で設置しているため、実質148自主防が備蓄倉庫を整備済。	206,259,844円

●自主防災組織活性化支援対策（防災講話等開催）

年 度	防災講話	図上訓練	実働訓練	計	実施地区	参加者数
平成23年度	34		1	35	36	1,363
平成24年度	36			36	34	2,291
平成25年度	48	1	5	54	37	3,603
平成26年度	52	2	6	60	36	3,609
平成27年度	47	3	15	65	47	3,781
平成28年度	44	7	3	54	21	2,096
平成29年度	22	8	10	40	23	2,167
平成30年度	42	21	9	72	39	3,760
令和元年度	55	7	6	68	51	2,627
令和2年度	22	0	0	22	7	611
令和3年度	17	0	1	18	10	457
令和4年度	10	0	5	15	13	684
令和5年度	37	0	2	39	33	1,295
令和6年度	23	0	0	23	20	672

実施地区は学校、企業を除いた地区数

●自主防災組織活動支援事業費補助金事業 【市単独事業】

＜①防災知識普及事業＞

年 度	自主防数	自主防名	事業費	補助金額
平成23～25年度		実績なし		
平成26年度	1	上津小野	9,504円	4,700円
平成27～28年度		実績なし		
平成29年度	1	池船	5,000円	2,500円
平成30年度 ～令和4年度		実績なし		
令和5年度	1	吹浦地区	20,000円	10,000円
令和6年度	1	吹浦地区	20,000円	10,000円

＜②防災訓練事業＞

年 度	自主防数	自主防名	事業費	補助金額
平成24年度		実績なし		
平成25年度	3	上津小野、弥生連合、若宮	101,362円	50,600円
平成26年度	3	河内、永野、大宮	51,600円	25,600円
平成27年度	4	狩生、大宮、榊形、中山	50,030円	24,900円
平成28年度	3	狩生、中山、色利浦	58,386円	29,100円
平成29年度	2	狩生、石間	40,614円	20,200円
平成30年度 ～ 令和6年度		実績なし		

＜③防災資機材備蓄事業＞

年 度	自主防名	事業費	補助金額
平成24年度	6 件（葛原、小蒲江、羽出浦、梶牟礼、浅海井、城南町）	1,975,078円	962,200円
平成25年度	13 件（上津小野、小川、小崎台、羽出浦、来島、竹野浦、浦代浦、若宮、海崎、高松、浅海井、泥谷、城南）	3,505,104円	1,748,000円
平成26年度	18 件（高松、城西、匠南、上津小野、狩生、泥谷、宇山、小蒲江、海崎、竹野浦、小浦、栈敷北、河内、小崎台、浦代浦、長島、片神、久保浦）	3,030,696円	1,512,600円

平成27年度	21件（羽出浦、守後、中野西、榊形、指夫、中山、狩生、東灘、百枝、宮野浦、留田、年の神、久保浦、佐伯河内、片神、浅海井、上津小野、大宮、東町、福泊、小福良）	5,006,298円	2,496,300円
平成28年度	23件（猪串、狩生、高山、中野西、丸市尾、鷺谷、古江、佐伯河内、小福良、宇山、日向泊、広浦、中山、福泊、年の神、竹ヶ谷、市福所、小蒲江、片神、上津小野、上城、片山、海崎駅前）	3,885,107円	1,940,100円
平成29年度	39件（置場、荒網代東、荒網代西、狩生、有明、下城、中川原、車、蒲江河内、海崎、脇、坂の浦、若宮、榊形、石間、宮の内、百枝、女島、小浦、大東、百谷、波当津、佐伯河内、中野東、尾浦、深島、仲川原、楠本、片山、中野西、池船、年の神、中山、葛原、沖松浦、市福所、日向泊、上灘、屋形島）	8,559,965円	4,228,400円
平成30年度	21件（塩内、野々河内、中野西、上久部、狩生、江頭、福泊、上津小野、坂の浦、海崎駅前、中川原、畑野浦、藤望、年の神、佐伯河内、中山、津志河内、尾浦、門前、上灘、池船）	4,060,920円	2,026,600円
令和元年度	17件（中野西、年の神、狩生、坂の浦、上津小野、長島、佐伯河内、海崎駅前、門前、西野浦東・中村、西野浦西、宮野浦、宮の内、寺田、蒲江浦連合、池船、上灘）	3,621,334円	1,809,500円
令和2年度	30件（荒網代東、地松浦、坂の浦、浪太、匠南、古江、堂ノ間、宮野浦、小浦、八幡、宇津々、吹浦大河原、吹浦央、吹浦奥、蒲江浦連合、汐月、尾岩、石間、女島、西野浦西、西野浦東・中村、西野浦仲川原、門前、大島、海崎駅前、間越、中の島、城南、池船、宮の内）	4,613,798円	2,305,800円
令和3年度	19件（中野西、梶牟礼1、藤望、浦代浦、色利、小浦、中川原、年の神、八幡、車、佐伯河内、匠南、吹浦浜、吹浦奥、吹浦央、吹浦大河原、沖松浦、上津小野、池船）	2,382,572円	1,154,700円
令和4年度	16件（檜野木、置場、小浦、浦代浦、宮野浦、有明浦、酒利、小島、東町、色利浦、宇山、尺間5、門前、中村、黒沢、沖松浦）	1,385,435円	692,000円
令和5年度	15件（狩生、浦代浦、色利浦、吹浦大河原、丹賀浦、吹浦奥、宮野浦、中野西、上岡、竹野浦、下城、吹浦央、沖松浦、小浦、吹浦浜、吹浦大河原）	1,501,308円	750,200円
令和6年度	29件（上岡、海崎駅前、佐伯河内、匠南、風無、宮の内、沖松浦、提内、羽出、狩生、浦代、色利、宮野浦、小浦、若宮、上津小野、海崎、有明、津志河内、池船、地松浦1、地松浦2、地松浦3、地松浦4、地松浦5、吹浦浜、吹浦央、吹浦奥、吹浦大河原）	3,301,752円	1,637,900円
		46,829,367円	23,264,300円

《④備蓄食糧等整備事業》

年 度	自主防名	事業費	補助金額
平成29年度	27件（海崎駅前、羽出浦、有明浦、沖松浦、中越浦、吹浦奥、吹浦大河原、吹浦浜、浦代浦、小浦、地下東、地下西、カバネ、山後、熊野、中村、長津留、新町、小向、鷺谷、蒲江河内、屋形島、深島、越田尾、猪串、楠本、野々河内）	4,801,967円	2,399,400円
平成30年度	37件（塩内、石間、波当津、丸市尾、丹賀浦、有明浦、荒網代東・西、梶寄浦、狩生、片神、竹野浦河内高山、竹野浦河内元猿、竹野浦河内東・西、坂の浦、日向泊、畑野浦、中川原、津井、夏井、野々河内、仲川原、吹浦浜、蒲戸、尾浦、吹浦大河原、年の神、吹浦央、海崎、古江、蒲江河内、大島、片山、海崎駅前、上灘、脇、宮野浦、中野東）	8,799,927円	4,391,600円
令和元年度	18件（江頭、中の内、小浦、竹野浦、年の神、坂の浦、羽出浦、中川原、野々河内、匠南、波当津、海崎、西野浦東・中村、西野浦西、梶寄浦、海崎駅前、片山、上灘）	2,503,148円	1,250,600円
令和2年度	26件（中野西、大宮、坂の浦、狩生、浪太、中川原、匠南、古江、浦代浦、宮野浦、小浦、久保浦、年の神、西野浦西、西野浦東・中村、守後、西野浦仲川原、有明浦、女島、海崎、佐伯河内、小蒲江、片山、海崎駅前、池船、羽出浦）	2,702,527円	1,336,700円
令和3年度	34件（中野西、大宮、葛原、久保浦、竹ヶ谷、狩生、高松、浅海井、浦代浦、小浦、中川原、尺間1、尺間2、尺間3、尺間4、尺間5、宮野浦、車、猪串、匠南、吹浦浜、吹浦央、海崎、沖松浦、羽出浦、片山、女島、置場、池船、福泊、海崎駅前、有明浦、大島、地松浦）	4,146,607円	2,069,100円
令和4年度	15件（小浦、森崎、狩生、色利浦、浦代浦、宮野浦、有明浦、中川原、楠本、荒網代東、荒網代西、尾浦、片山、沖松浦、海崎）	2,514,539円	1,256,700円
令和5年度	44件（尺間1区、吹浦奥、吹浦大河原、新町、尺間2区、色利浦、小浦、羽出浦、吹浦浜、波当津、中村、中川原、大野西、鷺谷、地下西、沖松浦、竹野浦、屋形島、竹野浦河内東西、中野西、竹野浦河内高山、深島、尺間4区、カバネ、竹野浦河内元猿、丹賀浦、野々河内浦、片神、吹浦央、小向、熊野、狩生、石間浦、地下東、尺間3区、宮野浦、有明浦、長津留、浦代浦、尾浦、中野東、中越浦、山後	7,645,455円	3,756,200円
令和6年度	38件（脇、津井、夏井、海崎駅前、大島、坂の浦、沖松浦、匠南、古江、波当津、江頭、宮の内、海崎、百枝、梶寄、狩生、地松浦1、地松浦2、地松浦3、地松浦4、地松浦5、浦代、色利、宮野浦、小浦、藤原、野々河内、西野浦東・中村、津志河内、蒲江河内、吹浦浜、吹浦央、吹浦奥、吹浦大河原、石間、西野浦西、年の神、女島）	5,751,421円	2,872,800円
		36,351,052円	19,333,100円

《⑤防災士会活動事業》

年 度	防災士 組織数	防災士組織及び事業	事業費	補助金額
令和元年度	1	佐伯市防災士会スキルアップ研修	15,000円	7,500円
令和2年度	1	コロナの影響により無し	0円	0円
令和3年度	1	コロナの影響により無し	0円	0円
令和4年度	1	大分県防災士キャリアアップ研修 6/14マイ・タイムラインコーディネート講座（11名参加） 11/15要配慮者支援コーディネート講座（11名参加）	0円	0円
令和5年度	1	佐伯市防災士会スキルアップ研修	15,000円	7,500円
令和6年度	1	防災士スキルアップ研修	0円	0円

●防災士育成

年 度	総 数	内 訳①		内 訳②			備 考
		男	女	地区 推薦者	市職員	その他	
平成18～22年度	10人	9人	1人	10人	-	-	
平成23年度	18人	16人	2人	18人	-	-	
平成24年度	334人	308人	26人	195人	69人	70人	年3回実施
平成25年度	86人	57人	29人	85人	-	1人	年1回実施
平成26年度	173人	126人	47人	73人	57人	43人	年2回実施
平成27年度	135人	96人	39人	58人	70人	7人	年2回実施
平成28年度	116人	76人	40人	42人	57人	17人	年2回実施
平成29年度	126人	87人	39人	57人	56人	13人	年2回実施
平成30年度	125人	89人	36人	38人	70人	17人	年2回実施
令和元年度	100人	69人	31人	28人	57人	15人	年2回実施
令和2年度	66人	39人	27人	12人	54人	0人	年2回実施
令和3年度	47人	34人	13人	17人	0人	30人	市職員は次年度
令和4年度	100人	69人	31人	19人	70人	11人	年3回実施
令和5年度	95人	74人	21人	29人	57人	9人	年2回実施
令和6年度	87人	53人	34人	25人	52人	10人	年2回実施
計	1,618人	1,202人	416人	706人	669人	243人	「その他」は教員、高校生など

●佐伯市防災訓練（地域避難訓練）

年 度	名 称	実施日	参加 地区数	地区 参加率	参加 者数	参加 者率
22年度	第1回地域避難訓練	H22. 11. 14	91	24. 40%	4, 127	—
23年度	第2回地域避難訓練	H23. 11. 13	177	47. 50%	11, 704	14. 80%
24年度	第3回地域避難訓練	H24. 11. 11	94	25. 30%	5, 253	6. 70%
25年度	第4回地域避難訓練	H25. 11. 10	231	62. 10%	12, 530	16. 20%
26年度	第5回地域避難訓練	H26. 11. 9	212	57. 00%	9, 102	11. 90%
27年度	第6回地域避難訓練	H27. 11. 8	245	66. 00%	12, 950	17. 20%
28年度	第7回地域避難訓練	H28. 11. 13	233	62. 80%	10, 597	14. 30%
29年度	第8回地域避難訓練	H29. 11. 12	247	66. 60%	11, 108	15. 20%
30年度	第9回地域避難訓練	H30. 11. 11	248	67. 20%	12, 455	17. 30%
元年度	第10回地域避難訓練	R1. 11. 10	239	64. 70%	11, 345	16. 00%
R2年度	第11回地域避難訓練	R2. 11. 8	240	65. 8%	11, 431	16. 4%
R3年度	第12回地域避難訓練	R3. 11. 14	235	63. 86%	10, 125	14. 77%
R4年度	第13回地域避難訓練	R4. 11. 13	231	62. 77%	8, 515	12. 64%
R5年度	第14回地域避難訓練	R5. 11. 12	248	67. 39%	10, 962	16. 92%
R6年度	第15回地域避難訓練	台風により中止	—	—	—	—

●佐伯市防災訓練（その他訓練）

年 度	名 称	実施日	参加 地区数	参加 者数
24年度	県総合防災訓練開催(参考：大雨洪水注意報発表中)	H24. 11. 11		
25年度	渡町台地区避難所運営訓練	H25. 11. 10	11	283
	DMAT訓練		5	16
26年度	佐伯地区避難所運営訓練	H26. 11. 9	20	183
27年度	佐伯東地区避難所運営訓練	H27. 11. 29	12	267
28年度	土砂災害全国防災訓練（上城地区）	H28. 6. 5	10	65
	西上浦地区避難所運営訓練	H28. 8. 20	9	170
	米水津孤立集落対策訓練	H29. 3. 10	6	900
29年度	上堅田地区避難所運営訓練	H29. 11. 12	10	172
30年度	八幡地区避難所運営訓練	H30. 11. 11	17	307
元年度	鶴岡地区避難所運営訓練	R1. 11. 10	25	297
	青山地区黒沢ダム緊急放流避難訓練		7	323
R2年度	城南・池船地区防災訓練	R2. 7. 19	2	134
	(渡町台地区)新型コロナウイルス感染症対策緊急避難場所設置運営訓練	R2. 7. 19	10	50
	鶴見地区避難所運営訓練	R2. 11. 8	2	88
R3年度	南海トラフ地震臨時情報避難訓練	R3. 11. 28	41	202
R4年度	直川地域避難所運営訓練	R4. 11. 13	13	56
R5年度	米水津小浦地区夜間訓練	R5. 11. 7	90	1
R6年度	南海トラフ地震臨時情報避難訓練	R7. 11. 17	2	155

●市民防災講演会

年 度	名 称（演題）	開催日	講師	参加者数
24年度	佐伯市防災講演会	H24. 12. 2 (日)	防災情報システム研究所 所長 山村武彦氏	170人
25年度	佐伯市防災・ 男女共同参画講演会	H25. 6. 29 (土)	特定非営利活動法人 イコールネット仙台 代表理事 宗片恵美子	163人
26年度	被災者が伝える 避難所の現状と課題	H26. 7. 6 (日)	東日本大震災語り部 山田葉子氏	190人
27年度	東日本大震災から学ぶ 避難所の現状と支援のあり方	H27. 9. 12 (土)	前もりおか女性センター センター長 田端 八重子氏	86人
28年度	東日本大震災から学ぶ 避難所のあり方と自助・共助を柱とした地域防災の重要性	H28. 9. 25 (日)	YY防災ネット代表 吉田亮一氏	108人
29年度	佐伯を襲う 大雨・地震・津波 ～その時に備えて～	H29. 9. 3 (日)	気象予報士 花宮 廣務氏	294人
30年度	台風24号接近により中止	H30. 9. 30 (日)	気象予報士 花宮 廣務氏	-
元年度	南海トラフ巨大地震と 佐伯市の都市リスク	R1. 9. 29 (日)	東北大学災害科学国際研究所 教授 村尾 修氏	245人
R2年度	多発する自然災害に備えて ～災害に負けない地域(人)を目指して～	R3. 1. 31 (日)	大分大学減災・復興デザイン教育研究センター 防災コーディネーター 板井幸則氏	150人
R3年度	コロナまん延防止措置等により中止	R4. 2. 27 (日)	大分大学減災・復興デザイン教育研究センター 次長 鶴成悦久氏	-
R4年度	令和4年度 防災活動推進講演会 主催/大分県 共催/佐伯市	R5. 3. 10 (金)	【第一部】防災家・防災スペシャリスト 野村功次郎氏 【第二部】パネルディスカッション	250人
R5年度	目からウロコのぼうさい～今やろう！ 自分で・家族で・みんなで～	R6. 2. 18 (金)	歌う防災士 しほママ（柳原 志保氏） 高3防災士 たくみ（柳原 拓巳氏）	450人
R6年度	災害フォーラム2024市民企画講座アップデート！防災意識×行動 主催/日本建築学会九州支部災害委員会 共催/佐伯市	R6. 12. 23 (月)	大分大学 理工学部 島津 勝氏 大分大学 理工学部 小林 祐司氏 国土交通省 佐伯河川国道事務所 永田 哲也氏	224人

●防災意識啓発冊子の発行など

年度	冊子等、発行	配布・規格	主な内容
平成 24 年度	津波ハザードマップ H25. 3月	市内全戸(事業所 含)33,500冊配布 A4版フルカラー 68P	県調査結果の浸水想定区域のある旧佐伯、上浦、鶴見、米 水津、蒲江エリア掲載 避難地569箇所、避難路715箇所、避難所13箇所、津波避難 ビル38箇所、土砂災害危険箇所等を表示
平成 29 年度	「わが家の防災手帳」 H30. 3月	市内全戸(事業所含) 40,000冊作製 A5版フルカラー 40P	災害を知る、災害が起きたら、災害に備える、佐伯市の取 組、災害時の情報伝達、家族手帳
	「避難所運営マニユア ル」 H30. 3月	全地区・全避難所ほ か612部 A4版フルカラー 233P	大規模災害時に開設する避難所の運営に関するマニユア ル。 ・マニュアル ・様式集 ・リーフレット集 ・会話シー ト、質問票(英・中・韓・ベ)
平成 30 年度	洪水ハザードマップ H31. 3月	上浦・佐伯版24,040、弥生・本匠版4,240、直 川・宇目版2,420、鶴見・米水津・蒲江版 6,100 計36,800作成し、全戸配布 A4版フルカラー 48P～68P	国・県による「洪水予報河川」 「水位周知河川」の洪水浸水想定 区域図、及び近年の浸水(冠水) 実績箇所図、ならびに避難場所等 位置図を表示
	土砂災害ハザードマップ H31. 3月	上浦・弥生・鶴見・米水津・蒲江の土砂災害 警戒区域の指定が完了している地区(102)に配 布。今年度未作成の地区は、31年度以降に順 次作成。 A3版フルカラー(両面印刷)	地区内の土砂災害警戒区域、特別 警戒区域(土石流・急傾斜・地す べり)、地区民による危険箇所情 報、指定緊急避難場所・緊急避難 の場所、避難場所までの経路など
令和 元 年度	土砂災害ハザードマップ R2. 3月	佐伯・渡町台・佐伯東・上堅田・鶴岡・八 幡・西上浦・下堅田の土砂災害警戒区域の指 定が完了している地区(63)に配布。 これまで未作成の地区は、2年度以降に順次作 成。 A3版フルカラー(両面印刷)	地区内の土砂災害警戒区域、特別 警戒区域(土石流・急傾斜・地す べり)、地区民による危険箇所情 報、指定緊急避難場所・緊急避難 の場所、避難場所までの経路など
	「防災ハンドブック」 R2. 3月	地域の小中高生や女性グループ等の意見を盛 り込んだ5種類(小学生低・高学年、中学 生、高校生、女性用)のハンドブックを作成 し、市内各学校・公民館・図書館などに配布 (合計約23,000部)。 A3版フルカラー(両面印刷)	非常時持ち出し品・備蓄品等の チェックリスト、もしもの時のた めに各自が氏名・連絡先等を記入 し切り取り携帯しておく「自分 カード」など

令和 2 年度	土砂災害ハザードマップ R3. 3月	大入島・下堅田・木立・本匠の土砂災害警戒区域の指定が完了している地区（42）に配布。 これまで未作成の地区は、3年度以降に順次作成。 A3版フルカラー（両面印刷）	地区内の土砂災害警戒区域、特別警戒区域（土石流・急傾斜・地すべり）、地区民による危険箇所情報、指定緊急避難場所・緊急避難の場所、避難場所までの経路など
令和 3 年度	土砂災害ハザードマップ R4. 3月	上浦・弥生・宇目・直川・鶴見・蒲江の土砂災害警戒区域の指定が完了している地区（106）に配布。 これまで未作成の地区は、4年度に順次作成。 A3版フルカラー（両面印刷）	地区内の土砂災害警戒区域、特別警戒区域（土石流・急傾斜・地すべり）、地区民による危険箇所情報、指定緊急避難場所・緊急避難の場所、避難場所までの経路など
	外国人のための防災パンフレット R4. 3月	佐伯市内では、技能実習生を含む多くの外国人が生活しており、慣れない環境で生活しています。災害時に言葉・環境の違いで、困ることがないように、逃げ遅れることがないように、ピクトグラムの説明や避難する際に必要なもののチェックリストなどを記載したパンフレットを作成し、防災研修や市内外国人が勤務する会社に配布を行う。HPからのダウンロードも可能。 A4版フルカラー（両面印刷）	英語、韓国語、中国語、ベトナム語、タガログ語、インドネシア語、ミャンマー語の7か国語で作成。
	高潮ハザードマップ R4. 3月	日頃から自宅等の周辺の浸水が想定される箇所等を確認しておき、災害時に適切な避難が行えるよう5箇所に分けて作成。HPからのダウンロードも可能 A1版フルカラー（両面印刷）	県が水防法に基づき、高潮浸水想定区域を指定、防災気象情報、避難行動、避難情報、自主防災組織、指定緊急避難場所など
令和 4 年度	土砂災害ハザードマップ R5. 3月	土砂災害警戒区域の指定が完了している未作成の地区（20）に全戸配布。 新たに土砂災害警戒区域が指定された場合は、随時作成。 A3版フルカラー（両面印刷）	地区内の土砂災害警戒区域、特別警戒区域（土石流・急傾斜・地すべり）、地区民による危険箇所情報、指定緊急避難場所・緊急避難の場所、避難場所までの経路など
令和 5 年度	土砂災害ハザードマップ R6. 3月	今年度の指定に合わせ、修正版を作成、（35）に全戸配布。 A3版フルカラー（両面印刷）	地区内の土砂災害警戒区域、特別警戒区域（土石流・急傾斜・地すべり）、地区民による危険箇所情報、指定緊急避難場所・緊急避難の場所、避難場所までの経路など
令和 6 年度	土砂災害ハザードマップ R7. 3月	今年度の指定に合わせ、修正版を作成、30地区に全戸配布。 A3版フルカラー（両面印刷）	地区内の土砂災害警戒区域、特別警戒区域（土石流・急傾斜・地すべり）、地区民による危険箇所情報、指定緊急避難場所・緊急避難の場所、避難場所までの経路など

● 応急仮設住宅の建設候補地選定（H27. 6月に見直し）

候補地数	所有者	有効面積	建設可能戸数	想定必要戸数
27	市25 開発公社等2	164,200㎡	1,642戸	2,070戸

● 防災協定

年 度	協定数	団体数	累 計	
			協定数	団体数
平成23年度	27	27	53	70
平成24年度	19	19	72	89
平成25年度	5	5	77	94
平成26年度	5	3	82	97
平成27年度	4	3	86	98
平成28年度	7	5	93	103
平成29年度	4	5	89	101
平成30年度	5	5	94	106
令和元年度	2	2	97	109
令和2年度	1	1	100	122
令和3年度	11	13	111	135
令和4年度	4	5	115	140
令和5年度	3	5	114	142
令和6年度	2	2	115	143

●防災関係各種計画書等

計画書等名	策定	修正	修正②	修正③	修正④	修正⑤	修正⑥	備考
「地域防災計画」	H19. 2							
・ 地震、津波対策編 「南海トラフ地震防災 対策 推進計画」の編 入（H28. 2策定）	H24. 8	H26. 3	H27. 2	H28. 2	H31. 3	R3. 2	R5. 3	R7. 3
	修正⑦	修正⑧	修正⑨	修正⑩	修正⑪	修正⑫	修正⑬	
	R6. 3							
・ 風水害、事故対策編	H28. 2	H31. 3	R3. 2	R5. 3	R6. 3	R7. 3		
・ 資料編	H21. 1	H27. 6	R1. 8					
「水防計画」		H27. 2						
「国民保護計画」		H23. 2	R7. 3					
「原子力災害対策実施 要領」	H28. 2							
「備蓄計画」	H26. 3	H26. 3・5	H26. 7・11	H27. 7	H28. 4	R2. 10		
「津波防災地域づくり 推進計画」	H30. 3							
「津波避難対策緊急事 業計画」	H28. 3							
「津波避難計画」	H25. 11							
「業務継続計画 (BCP)」	H26. 3	R2. 8	R3. 9	R5. 3	R6. 3	R7. 3		
「受援計画」	H31. 3							
「佐伯市国土強靱化地 域計画」	R2. 3	R7. 3						
・ 同上の年次計画	R2. 3	R2. 9	R3. 9	R4. 9	R6. 3	R6. 9		
「教育委員会防災計 画」	H27. 3	R6. 8						佐伯市教育 委員会
「消防受援計画」	H29. 1	R4. 12						佐伯市消防 本部
「南海トラフ地震臨時 情報対応方針」	R3. 10	R7. 3						

●家具転倒防止器具購入等の2/3助成（上限1万円）

年度	件数
H26	4
H27	0
H28	1
H29	0
H30	1
(小計)	6

年度	件数
R1	0
R2	2
R3	1
R4	26
R5	3
合計	38

年度	件数
R6	18
合計	56